

令和7年5月28日	
資料提供	
担当課	海草振興局農林水産振興部農業水産振興課
担当者	普及グループ 岩橋
電話(直通)	073-441-3378

令和7年産和歌山地方柑橘類の着花状況調査結果

調査者：和歌山県農業協同組合、海南市役所、県農業共済組合、
県果樹園芸課、県果樹試験場、海草振興局農業水産振興課

調査日：令和7年5月12日（月）

令和7年産かんきつ類の着花量は、品目により園地や樹によるバラツキが見られるものの総体的に平年よりやや少ない状況であった。また、新葉数はやや多いが、全体の着葉数は平年並みで、樹勢が保たれている。満開期は昨年より3～4日遅く、平年より2日程度遅いと思われる。

各品目別の詳細は以下のとおり。

(1)温州みかん

- ①新葉の発生がやや多く、葉の世代交代も見られる。全体の着葉数は園地や品種により若干のバラツキはあるがほぼ平年並で、樹勢は中庸であった。
- ②満開期はゆら早生で昨年より4日遅い5月11日頃（平年より1日遅い）、極早生は昨年より4日遅い5月9日頃（平年より1日遅い）、早生は昨年より3日遅い5月12日頃（平年より2日遅い）、普通で昨年より5日遅い5月14日頃（平年より3日遅い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、ゆら早生で9.8、極早生で9.6、早生で9.3、普通で8.7であった。

(2)八朔

- ①新葉はやや少ないが、着葉数は平年並みで、樹勢は中庸であった。
- ②満開期は昨年より4日遅い5月13日頃（平年より1日遅い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、10.4であった。

(3)清見

- ①新葉の発生や着葉数は平年よりやや多いが、樹勢は中庸であった。
- ②満開期は昨年より4日遅い5月12日頃（平年より1日遅い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、10.3であった。

(4)不知火

- ①新梢の発生や着葉数は平年よりやや少ないが、樹勢は中庸であった。
- ②満開期は昨年より4日遅い5月12日頃（平年より2日遅い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、11.2であった。